

## ヘキサダンプモード

[DT-MC04]

2020年9月25日 (X520034) (株)データ・テクノ

---

### ■■ ヘキサダンプモードの必要性 ■■

バイナリを含むデータをテキストとして見ても、文字化けが起こり良く分かりません。  
従来SDロガー4は受信したデータを透過的に(そのまま)記録しましたので、バイナリーデータを受信した場合、テキストエディターなどで見ても、うまく表示されませんでした。  
ロギングするデータを16進数文字に変換する、ヘキサダンプモードが加わりました。  
ヘキサダンプモードでは、二桁の16進数文字に変換して記録します。  
ヘキサダンプモードでロギングすれば、バイナリーデータでも、テキストとして見る事が出来ます。

#### バイナリデータはさっぱり分からない

```
*15┘**[* %   *15┘**[* %   *15┘**[* %   *15
┘**[* %   *15┘**[* %   *15┘**[* %   *15┘
**[* %   *15┘**[* %   *15┘**[* %
```



#### ヘキサダンプモードだとちゃんと見える

```
2A 31 01 04 04 01 35 01 AD 2A 2A 5B
2A 32 01 03 08 00 01 25 80 00 00 00 00 83 FC
2A 31 01 04 04 01 35 01 AD 2A 2A 5B
2A 32 01 03 08 00 01 25 80 00 00 00 00 83 FC
2A 31 01 04 04 01 35 01 AD 2A 2A 5B
2A 32 01 03 08 00 01 25 80 00 00 00 00 83 FC
```



※この機能はSDロガー4の V400X 以降のバージョンで機能します。

## ■■ 2種類のヘキサダンプモード ■■

ヘキサダンプモードでは、二桁で隙間なく記録されるモードと、データとデータのあいだにひとつのスペースが挿入される三桁モードがあります。

### ●ヘキサダンプ(2桁)モード

データが2桁の16進数に変換されスペースなしで詰めて記録されます。  
フレーム検出機能と併用する場合は、フレームごとに改行されます。

```
2A31010404013501AD2A2A5B
2A32010308000125800000000083FC
2A31010404013501AD2A2A5B
2A32010308000125800000000083FC
2A31010404013501AD2A2A5B
2A32010308000125800000000083FC
```

### ●ヘキサダンプ(3桁)モード

データが2桁の16進数に変換され、スペースをひとつ挿入して記録されます。  
フレーム検出機能と併用する場合は、フレームごとに改行されます。

```
2A 31 01 04 04 01 35 01 AD 2A 2A 5B
2A 32 01 03 08 00 01 25 80 00 00 00 00 83 FC
2A 31 01 04 04 01 35 01 AD 2A 2A 5B
2A 32 01 03 08 00 01 25 80 00 00 00 00 83 FC
2A 31 01 04 04 01 35 01 AD 2A 2A 5B
2A 32 01 03 08 00 01 25 80 00 00 00 00 83 FC
```

### ●フレーム検出機能とヘキサダンプモード

ヘキサダンプモードでフレーム検出機能を使うと、フレームの終端には改行が付加されます。  
フレームごとに改行されて記録されます。

## ■■ そのほか ■■

※ヘキサダンプモードでは記録されるデータ量が多くなります。  
高速のビットレートで、高速なデータを記録しようとする、通常のモードに比べてエラーを起こす可能性が高くなります。

※SD ロガー4 をヘキサダンプモードに変更するには、コンフィギュレーション設定が必要です。  
コンフィギュレーション設定の詳細は「DTMCHost使い方(X519006-2)」をご覧ください。